

第七十五回 昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ニ
帝國議會 貴族院 充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

特別委員會會議事速記録第七號

付託議案(追加)

臨時資金調整法中改正法律案
陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金特別
會計法及海軍工廠資金會計法ノ臨時特別
ニ關スル法律案

昭和十五年三月二十二日(金曜日)午前十
時十二分開會

○委員長(子爵尾尾忠方君) 是ヨリ會議ヲ
開キマス、本日ハ、去ル二十日ニ當委員會
ニ併託ニナリマシタ臨時資金調整法中改正
法律案、竝ニ陸軍作業會計法、陸軍航空工
廠資金特別會計法及海軍工廠資金會計法ノ
臨時特別ニ關スル法律案ニ付キマシテ、政
府當局ノ御説明ヲ煩スコトニ致シタイト存
ジマス、尙序ニ申上ゲテ置キマスガ、本日
ハ幸ニ大藏大臣ガ御出席ニ相成リマシタカ
ラシテ、先般來ノ大藏大臣ニ對スル御質疑
ハ、此ノ御説明ノ後、引續イテ御願ヒ致シ
タイト存ジマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 當委員會ニ付託
セラレマシタ臨時資金調整法中改正法律案
外一件ニ付キマシテ、其ノ提案ノ理由ヲ説
明致シマス、先ヅ臨時資金調整法中改正法
律案ニ付キマシテハ、既ニ本會議ニ於テ大
體ノ説明ヲ致シタ次第デアリマスガ、此ノ
際詳細ニ申述ベタイト存ジマス、政府ニ於
キマシテハ、事變勃發以來政府資金ノ散布
ノ激増等ガ、國民經濟生活ニ及ス惡影響ヲ防
止スル爲、極力國民貯蓄ノ獎勵ニ力ヲ致シ
テ居ルノデアリマシテ、特ニ國民大衆ノ零
細ナル資金ヲ吸收スルガ爲ニハ、貯蓄獎勵

ニ關スル機構ヲ整備致シ、且全國的ニ貯蓄
組合ノ設置ヲ勸奨致シマスル外、郵便局窓
口ヨリノ小額國債ノ賣出竝ニ貯蓄債券ノ發
行ヲ行ヒ、更ニ又郵便貯金ニ付キマシテモ、
事變後激増致シマシタ貯金者ノ便宜ヲ圖ル
コトニ遺憾ナカラシムル等、各般ノ施設ヲ
講ジテ參ツクデアリマスルガ、最近ノ我が
國ノ經濟情勢ヲ見マスルト、國民大衆ノ一
部ニハ、急激ニ増加致シマシタ所得ヲ思惑
其ノ他ノ不健全ナル方面ヘノ投資、又ハ時
局柄不謹慎ナル浪費ニ振リ向クル者ガ見受
ケラル、ヤウニ相成ツクデアリマスルガ、
是等ノコトガ延イテハ國民ノ經濟生活ニ好
マシカラザル影響ヲ與ヘルモノデアリマス
コトハ御承知ノ通りデアリマス、而シテ只
今申述ベマシタヤウナ方面ノ過剩購買力ヲ
吸收スルニハ、現在迄政府ノ執り來リマシ
タ方策ヲ一層強化スルノ適當ト認メマシ
タノデ、今日臨時資金調整法ヲ改正致シマ
シテ、新タニ報國債券ヲ發行スルト共ニ、
從來ノ貯蓄債券ニ付テモ割増金ノ限度ヲ引
上グルコトト致シタ次第デアリマス、先ヅ
報國債券ニ付テ御説明申上ゲマスレバ、本
債券ハ貯蓄債券ト同様、政府ガ日本勸業銀
行ヲシテ發行セシムルモノデアリマシテ、
收入金ノ限度ハ差當リ五億圓ト致シテ居リ
マスガ、昭和十五年度ニ於テハ大體二億圓
程度ヲ發行スル見込ヲ立テテ居ルノデアリ
マス、發行方法ニ付キマシテハ、本債券ハ
券面金額ヲ十圓以下トシ、賣出價格ハ券面
金額通リトシ、且利子ヲ附ケナイコトヲ特

色トシテ居リマス、償還期限ハ發行ノ翌年
ヨリ十年以内ト致シマシテ、毎年一回以上
抽籤ヲ以テ割増金ヲ附シ得ルコトト致シタ
イト存ジマスルガ、此ノ割増金ハ本債券ノ
最モ特徴ナル點デアリマシテ、本債券ヲ
無利子ト致シマシタ代リニ、現在ノ貯蓄債
券又ハ復興貯蓄債券ニ比スレバ、相當多額
ノ割増金ヲ附ケ得ルヤウニナツテ居ルノデ
デアリマス、割増金ノ限度ハ法制上ハ無制限
デアリマスルガ、實行ニ當リマシテハ、過
度ニ射倖心ヲ唆ルコトノナイヤウニ、最高
ノ割増金ハ券面金額十圓ノ場合ハ一萬圓程
度ト致ス考デアリマス、又本債券ノ所持人
ヲシテ成ルベク長ク之ヲ保有セシムルコト
ガ、本債券發行ノ目的トスル購買力吸收ノ
趣旨ニ副フモノト思ハレマスルノデ、郵便
官署又ハ日本勸業銀行ニ本債券ノ保管ヲ委
託シタ者ニ對シマシテハ、其ノ保管委託ノ
期間ガ相當長期デアリマスルトキハ、主務大
臣ノ定ムル所ニ依リマシテ、別ニ割増金ヲ
交付スルコトニ致シタイト存ズル次第デア
リマス、尙本債券ノ發行ニ依ル收入金ハ、
貯蓄債券收入金ト同様、全部之ヲ大藏省預
金部ニ預入セシメ、主トシテ國債ノ消化ニ
之ヲ運用スル計畫デアリマス、次ニ改正ノ
第二點ハ、貯蓄債券ノ割増金ノ限度ガ現在
賣出價格ノ百五十倍トナツテ居リマスノヲ、
三百倍ニ引上ゲムトスルコトデアリマス、
貯蓄債券ハ昭和十二年十二月以來只今賣出
中ノモノ迄ヲ併セ、十回ニ互リ總額二億七
千五百萬圓ヲ發行致シ、購買力吸收ニ貢獻

シテ居ルノデアリマシテ、從來貯蓄債券ノ
發行條件ニ付キマシテハ、發行ノ都度割増
金ノ金額トカ償還年限トカノ鹽梅シテ、本
債券ノ普及ニ努メテ居ルノデアリマスルガ、
割増金ノ最高限度ニ付テハ、少クトモ現在
ノ復興貯蓄債券又ハ勸業債券ニ見マスル通
リ、三百倍程度迄引上グルコトガ、發行條
件ニ變化ヲ與ヘ、其ノ普及ヲ一層増進スル
意味ニ於テ有效デアルト考ヘタ次第デアリ
マス、以上二點ガ今回ノ臨時資金調整法改
正ノ要點デアリマスルガ、政府ト致シマシ
テハ本法律案ニ依ルノ外、先程申述ベマシ
タ從來ノ貯蓄獎勵諸施設ヲ強化致シマスル
ノハ勿論、今日新タニ小額國債、貯蓄債券
又ハ報國債券ヲ郵便官署又ハ日本勸業銀行
ニ於テ、無料ニテ保管スル制度等ヲ實施致
ス計畫デアリマシテ、本改正法律案ト相竝
ンデ、其ノ效果ヲ全カラシメタイト存ジテ
居ル次第デアリマス、次ニ陸軍作業會計法、
陸軍航空工廠資金特別會計法及海軍工廠資
金會計法ノ臨時特別ニ關スル法律案ニ付テ
説明致シマス、今次ノ事變ニ際シマシテ、
陸海軍用兵器等ノ調達竝ニ修理ノ圓滑ヲ期
スルノ必要ガアリマス關係上、軍需品工場
事業場ニ於キマシテ、陸海軍用兵器等ノ製
造又ハ修理ヲ致シマスルニ必要ナル材料物
品ノ一部不足ノ爲、之ガ完成ニ支障ヲ來ス
ガ如キ場合ニ於キマシテハ、臨時應急的措
置ト致シマシテ陸軍造兵廠、千住製鐵所、陸
軍航空工廠資金又ハ海軍工廠資金ノ各特別
會計ニ屬スル材料物品ニシテ融通ヲ爲シ得

ルモノハ、當該事業主ニ賣拂ヒマシテ、之ガ製造修理ノ圓滑ヲ圖ルノ必要ガアリマスル處、之ガ爲ニハ陸軍作業會計法陸軍航空工廠資金特別會計法及海軍工廠資金會計法ノ特例タルベキ法律ヲ制定スルノ必要ガアリマスノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、以上説明致シマシタ各法律案ニ付キマシテ、何卒御審議ノ上速カニ御協賛アラムコトヲ希望スル次第デアリマス

○西野元君 此ノ際一般的ニ質問致シテ宜シイデスカ

○委員長(子爵西尾忠方君) ドウゾ……

○野元君 私人公債償還ニ付テノ政府ノ將來ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマスガ、先般他ノ委員會等ノ關係デ、一二日私此ノ席ヲ離レテ居ッタモノデアリマスカラ、若シ其ノ間ニ同ジヤウナ質問ガアリマシテ、御答辯ヲ得テ居リマスルナラバ、委員長カラ御注意ヲ願ヒタイノデアリマス、又當委員會デゴザイマセヌデモ、事柄ガ事柄デアリマスカラ、豫算委員會等ニ於テ或ハ政府カラ反復御説明ニナツテ居ルカモ知レマセヌ、私ガ寡聞ニシテ承知シテナイノカモ知レマセヌカラ、其ノ事柄ハモウ既ニ答辯済デアルト云フコトデゴザイマシタナラバ、其ノコトヲ政府カラ御注意ヲ載キマスレバ、私ハ其ノコトヲ見合セマス、然ラザレバ私又チヨット質問申上ゲタイト思ヒマス、若シ何デゴザイマシタナラバ、御答辯ノアリマス前ニチヨット質問ノ要旨ヲ申上ゲマスカ、伺フテ宜シイカドウカヲチヨット……

○委員長(子爵西尾忠方君) 本委員會ニ於キマシテハ、マダ其ノ點ニ付テ當局ノ答辯ハゴザイマセヌ、減債基金ニ付テノ法律ノ御説明ハゴザイマシタガ、政府當局ノ、大

藏大臣ノソレニ對スル所ノ御答ニ付キマシテハ、マダ御答辯ガゴザイマセヌ、尙他ノ豫算委員會ニ於キマシテ假ニゴザイマシタト致シマシテモ、各委員カラ其ノ點ニ付テ先般來御希望ガ多分ニゴザイマスカラシテ、此ノ際御差支ナケレバ重ネテ御答辯ヲ願フノガ適當カト存ジマス、ドウゾ御發言ヲ願ヒマス

○西野元君 ソレデハ只今申上ゲマシタ事柄ニ付テ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイト存ジマス、事柄ハモウ自明ノコトデアリマスカラ、サウ諄々シク申上ゲル必要モナイト存ジマスルガ、一應私ノ伺ヒタイ質問ノ要旨ヲ簡單ニ申上ゲマシテ、御説明ヲ願ヒタイト存ジマス、申上ゲル迄モナク現下非常ノ時局ニ際會致シマシテ、我が國ガ比年莫大ノ國費ヲ要スル状態ニナツテ居リマス、其ノ財源ハ主トシテ之ヲ公債ニ仰グト云フヤウナ状態デアリマス、我が國ノ現狀ト致シマシテハ已ムヲ得ザル所デアリマスガ、併シ財政上ノ見地カラ申セバ、非常ニ之ニ對シテ憂慮ヲ禁ジ得ナイ次第デアアルノデアリマス、幸ニシテ今日迄ハ、政府ノ御努力ト國民ノ熾烈ナル愛國心ノ發露トニ依ツテ、巨額ノ公債ノ消化モ比較的圓滑ニ參ッテ居リマシテ、此ノ點ハ國家ノ爲ニ誠ニ慶賀ニ堪ヘナイ所デアリマスルガ、此ノ形勢ハ時日ノ經過ト共ニ益、困難ニナルコトハ、無論覺悟ヲ致サナケレバナラスコトト存ジマス、政府ニ於テ今回種々之ニ付テ御苦心ノ結果、只今大藏大臣ヨリ御説明ノアリマシタヤウナ法律ノ改正案ガ出マシタコトモ、此ノ消化ヲ圓滑ニスルト云フ一ツノ御苦心ノ現レト存ズルノデアリマスガ、是ハ朝野協力シテ、今後は非共此ノ目的ヲ遂行スルヤウニ努力

致サナケレバナラス問題デアリマスガ、ソレニ付キマシテ最モ必要デアラウト存ズルノハ、公債ノ償還ニ關スル政府ノ將來ノ御對策デアラウト存ズルノデアリマス、勿論一面カラ考ヘマスレバ、今如何ニシテ巨額ノ公債ヲ募集スベキカト云フ難問題ニ直面シテ居ル際デアリマスノデ、發行募集ノコトトガ目前ノ問題デアツテ、ソレヲ償還スルトカ、整理スルトカ云フコトハ、是ハ將來ノ問題デアルト云フ議論モアルカモ知レマセヌガ、是ハ左様ニ考ヘルト云フコトハ、誠ニ近視眼ノ見解デアルト存ズルノデアリマス、深謀遠慮ノ上カラ申セバ、發行ノ際、既ニ斯カル巨額ノ公債ヲ相次イデ發行スルト云フ際ニハ、自ラ之ガ償還ニ對スル將來ノ腹案ハナケレバナラスコトト存ジマス、唯問題ハ非常ニ困難ナ問題デアリマシテ、何人モ之ニ對シテ左様ニ明確ナ、又適切ナ方策ヲ今日立テテ云フコトハ非常ニ困難ナコトデアリマスガ、國民トシテモ此ノ事ハ深く憂慮スル問題デアリマス、況ンヤ財政當局ニ於カレマシテハ多大ノ御苦心ノアル所ト拜察致スノデアリマス、現下ノ情勢カラ申セバ公債消化ノ難易、又ハソレガ圓滑ニ參ルカドウカト云フコトハ、殆ド我が國ノ將來ノ運命ヲ支配スルモノデアルト云フコトヲ申シテモ、過言デナイ位ノ状態ニナツテ居ルト存ズルノデアリマス、先日本議場ニ於キマシテ、阪谷男爵カラ其ノ點ニ付テ御質問ガアツタヤウデアリマス、當時大藏大臣ハ御出席ガナカッタヤウデアリマスカラ、男爵ハ委員會ニ於テ詳細ノ御説明ノアルコトヲ期待シテ壇ヲ降ラレタヤウニ存ジマシテ、私ハ阪谷男爵ノ御質問ノ有無ハ別ニ自分トハ何等ノ關係モナイコトデ

アリマシテ、男爵ノ御依頼ヲ受ケテ承ル譯デモナイノデアリマスガ、既ニサウ云フ機會モゴザイマシタノデ、大藏大臣トシテ今日御抱懷ニナツテ居リマスル御所見ヲ伺フ機會ヲ無クシテ終ルト云フコトハ、我々議員トシテモ甚ダ遺憾ニ存ジマスシ、又國民トシテモ、其ノ最モ憂慮スル問題ニ付テノ御説明ヲ伺フ機會ヲ得タイグラウト思フノデアリマス、成ルベク此ノ機會ニ於テ御話ヲ承リタイト存ズルノデアリマス、彼ノ日露戰爭後ニ、桂内閣時代ニ減債基金ノ制度ガ設ケラレマシテ、マア五千萬圓ヲ以テシタノデアリマスガ、其ノ後憲政會内閣時代ニ、只今ノ法律ノ基礎ニナツテ居ル三千萬圓ヲ基礎トシタ萬分ノ百十六ノ償還金ノ繰入ト云フ制度ガ設ケラレマシテ、多年色々ノ推移ハゴザイマスルガ、其ノ方法デ參リマシタモノヲ、昭和七年ニ滿洲事件ノ關係ヨリ、是等ノ法律ノ實行ヲ一時停止スルノ已ムヲ得ザルニ至ツテ、現在デハ萬分ノ百十六ノ三分ノ一ノ繰入ト云フコトニナツテ居リマス、剩餘金ノ四分ノ一ノ繰入ト云フコトハ、全然之ヲ停止サレテ居ルヤウニ承知致シテ居ルノデアリマス、是ハ現下ノ情勢ニ於テ已ムヲ得ナイコトデアリマスガ、萬分ノ百十六デモ矢張り八十六七年ニ於テ初メテ公債ヲ償還スル、其ノ三分ノ一ト云フコトニナルト、萬分ノ三十七八ニ過ギナイノデアリマスカラ、二百六十七年ノ日月ヲ要シナケレバ、公債ノ償還ガ出來ナイ状態ニナツテ居ルノデアリマス、是ハ當然將來モウ一層ノ進行ヲ見ナケレバナラス問題デアルト存ズルノデアリマス、唯是等ノ問題ニ觸レマスノニハ、自ラ財源ノ關係上下ウシテモ税制ノ問題ト相觸レルコトデアリマシテ、今日迄政府ニ於テモ多

無ハ別ニ自分トハ何等ノ關係モナイコトデ

年ノ懸案トシテ、中央地方ヲ通ジテノ税制ノ整理ト云フコトニ御苦心ニナツテ居タリデアリマスルガ、其ノ機會ヲ得マセヌケレバ、是等ノ國債償還ニ對スル對策ヲ御決メニナル機會モナカッタノデアラウト存ジテ居タリデアリマス、今回愈々其ノ稅制ノ整理ニ付テ機運ガ到達シタリデアリマスルガ、併シ國費多端ノ際、公債償還ニ付テノ將來ノ對策ヲ制度ノ上ニ實現スル迄ノ機會ニ到達シナカッタコトハ、甚ダ遺憾ニ存ジマスルガ、是ハ當然今回ノ増稅計畫等トモ關聯シテ御考ニナツテ居ラル、コトト拜察スルノデアリマス、或ハ一應ノ推測ト致シマシテハ、今回ア、云フ稅制ガ一旦決マリマスレバ、國力ノ發展ト共ニ將來自然增收ガ毎年一億圓ナリ、一億五千萬圓ナリ出テ參リマス、兩三年ノ間ニハ十分減債基金等ヲ増加スルコトガ出來ルヤウナ狀態ニナル形勢デモアリマスレバ、大變仕合セデアリマスルシ、又自然增收デテクトモ、今回ノ稅制改正ノ一ツノ目的トシテ非常ニ「エラスチック」ナ、彈力性ノアル稅法ト云フコトニナツテ居リマスカラ、一旦アノ稅制案ガ確立致シテ居レバ、必要ニ應ジテ更ニ其ノ率ヲ増加スルコトニ依ツテ、所要ノ歲入ヲ得ルコトガ出來ルノデアリマス、此ノ基礎一度定マレバ、更ニ新

タニ根本的ニ稅制ニ改革セヌデモ、公債償還ニ對シテ將來ノ計畫ヲ確立スルコトノ便宜ハ、之ニ依ツテ得ラレルト云フコトデモアリマスレバ、是非非常ニ仕合セト存ジマス、今年ノ豫算ノ計畫ニ於テソレ等ノコトガ現レル迄ニ至リマセヌコトハ、現下ノ情勢ノ上カラ鑑ミマシテハ無理モナイ次第デアリマス、已ムヲ得ナイコトト存ジマスルガ、所謂長期建設デ、今後何年ノ間巨額ノ

國費ヲ要スルカ分ラズ、其ノ間多大ノ公債ヲ毎年々々募ツテ參リマスル狀態ニ於キマシテ、之ガ償還ニ關スル方法モ同時ニ之ト並行シテ參リマセヌケレバ、將來ノ公債消化ノ上ニモ誠ニ憂慮スベキ事柄デハナイカト存ズルノデアリマス、私ノ伺フ趣旨ハ、政府ノ御方針ニ對シテ非難ヲスル譯デモナシ、抗議ヲ致ス意味デモアリマセヌ、唯政府ノ御所見ヲ承リマシテ、國民ノ憂フベキコトハ憂ヘシメ、安心スベキコトハ安心ヲサセテ行クト云フコトガ、財政上ノ當然ノ途デアルト存ジマスルカラ、幸ニソレ等ノ御腹案ヲ御示シ戴ク機會ガアリマスルナラバ、ソレヲ御示ヲ戴イテ、國民ノ知ラムト欲スル所ヲ十分了解シテ行カセタイト存ズル次第デアリマス、管々シク申上ゲル必要モアリマセヌカラ、簡單ニ自分ノ伺フ要旨ヲ申上ゲマシテ、御答辯ヲ願ヒタイト存ジマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 只今西野サンノ御質疑ハ、最モ國民ノ知ラムト欲スル所デアリ、實際時宜ニ適シタル問題デゴザイマス、申上ゲモノク今日ノ事變ニ遭致シマシテ、サテクトモ相當ノ公債ガ出マス際ニ、一層巨額ノ公債ヲ發行致サナケレバナラス事態ニ立至リマシタガ、此ノ公債發行ニ際シマシテハ、ドウシテモ公債ノ價格ヲ堅實ニ維持スルト云フ上カラ申シマシテモ其ノ償還ニ對スル所ノ確平タル方針ヲ立テテ行ク事柄ハ、最モ重要ナ事柄デアルト存ズルノデアリマス、若シ其ノ償還ニ對スル所ノ方策ガ立タズシテ、公債ニ對スル所ノ國民ノ信用ヲ失ツタト致シマシタラバ、言フ迄モナク其ノ消化ニ於テ效果ヲ擧ゲルコトハ出來ナイノデアリマス、其ノ點ハ深く考

慮致サナケレバナラス所ト考ヘルノデアリマス、然ルニ事變發生以來此ノ方面ニ付キマシテハ、一定ノ方針ヲ立ツテ居ラスヤウナ感ジノ致ス事柄ハ誠ニ遺憾ト致ス所デアリマシテ、只今御話ノ如ク從來萬分ノ百十六ト云フ規定ノアリマシタノガ、其ノ三分ノ一ニ今日ナツテ居ル、斯ウ云フ狀態デアリマシテ、此ノ點ハ私共ト致シマシテ深く留意シナケレバナラス專柄ト存ズルノデアリマス、私此ノ問題ニ對シマシテ非常ニ關心ヲ持ツテ研究ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、只今御話ノ如ク今回ノ稅制改革ニ依ツテ増稅ヲ致ス、此ノ機會ニ於テコソ此ノ具體的ノ策ヲ確立シテ置ク必要ガアルト存ズルノデアリマス、唯、今期議會ニ於テ此ノ問題ニ對スル所ノ政府ノ方針ヲ定メテ御審議ヲ煩ハス機會ノナカッタコトヲ甚ダ申譯ナク感ジテ居ルノデアリマスガ、何レニセヨ此ノ問題ニ付キマシテハ、國民ガ是ナラ安心ダト云フ風ナ方法ニ依リマシテ、此ノ償還方法ヲ確立致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、尤モ今期議會ニ於キマシテノ狀態ヲ申上ゲマスト、優ニ此ノ萬分ノ百十六ノ三分ノ一デハナイ、萬分ノ百十六ヲモ償還シテ餘リアル財政計畫ニナツテ居リマスノ

此ノ點ニ付キマシテハ幾分力意ヲ強ウスルニ足ルト思フノデアリマス、元來此ノ事變ニ對シマシテ、ドウシテモ公債ニ依ルコトハ當然デアリマスケレドモ、歐洲大戰當時アタリニ考ヘテ見テ、日本ニ於テドレダケノ戰費ヲ稅ニ依ツテ、即チ國民ノ負擔ニ依ツテ支辨シテ、サウシテドレダケヲ公債ノ支辨ニ依ルベキカト云フ事柄ヲ、先ヅ第一ニ研究シナケレバナラス次第デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ世界各、國情ニ依ツテ

違ツテ居ルノデゴザイマシテ、日本ト致シマシテモ、ドノ程度ヲ取ツテ宜イカ見當ガ付カヌノデアリマスガ、御承知ノ通り歐洲大戰ノ當時、英國ハ總戰費ノ一割七分ヲ租稅ニ俟ツテ居リマス、「アメリカ」ハ二割一分ヲ租稅ニ俟ツテ居リマス、「ドイツ」ハ僅カニ六「パーセント」、「フランス」ハ僅カニ一「パーセント」、斯ウ云フ狀態ニナツテ居リマスノデアリマスガ、日本ト致シマシテハ其ノ戰費ノ中デ、今日迄ノ狀況デ申シマスナラバ、丁度戰費ノ一割ハ稅ニ依ツテ支辨シテ參ツテ居リマス、サウシテ殘ル所ノ部分ハ公債ニ依ツテ支辨シテ居ルノデアリマスガ、此ノ戰費ノ一部ヲ租稅ニ依ツテ負擔ヲ致シ、而シテ尙發行セラレタル所ノ國債ニ對シテノ利拂ト元本ノ償還ト云フモノニ對シマシテ、國民ノ信任ヲ得ルヤウナ額ヲ、具體策ヲ以テ償還方法ヲ決定スル事柄ハ最モ大事ナ事柄デアリマスノデ、其ノ點ニ付キマシテ只今御話ガアリマシタガ、自然增收ト云フモノガドウ云フ關係ヲ持ツモノカ、ソレカラ今回ノ増稅ガドウ云フ風ナ關係ヲ持ツカ、斯ウ云フコトニ付テ考ヘテ見マスト、今年度ノ豫算カラ申シマスト、一般會計カラ六億圓ト云フモノヲ軍事費ノ中へ繰入レテ居リマ

ス、是ハ戰費ノ中ノ一割以上ニ無論ナリマス、ソレカラ其ノ他ニ於キマシテモ今ノ増稅ト自然增收ニ依ツテ、逐年増加シテ行ク所ノ恩給デアルトカ、或ハ八年金デアルトカ、斯ウ云フモノヲ支辨致スト同時ニ、國債ノ利子ヲ拂ヒ、サウシテ相當ノ所謂元金償還ヲ爲スダケノ計算ハ立ツテ居リマシテ、今回ノ増稅ヲ機會ニ此ノ方面ニ付キマシテキチントシタ政策ヲ確立シテ、其ノ方針ノ下ニ公債ヲ發行スル、即チ公債ヲ發行スル毎ニ

其ノ償還ト金利ヲ拂フ途ヲ立テテ行ク、斯ウ云フ專柄ヲ行ハナケレバナラヌト思フテ居リマシテ、此ノ問題ニ付キマシテハ速カラズ具體的ナ案ヲ立テテ参リタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス、同時ニ此ノ自然増收其ノ他ノ問題ニ付キマシテハ、ドウシテモ此ノ生産力ノ擴充、輸出ノ振興、其ノ他ノ專柄ヲ相當行ヒマシテ、日本ノ經濟力ノ發展ヲ圖ツテ、サウシテ所謂其ノ負擔力ノ増加ヲ圖ツテ行キマスルト同時ニ自然増加ヲ圖ツテ行ク、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、又一面今回ノ稅制ハ、比例稅率ヲ採用致シマシタ部分ガ相當アリマス、比例稅率ヲ採用致シタ部分ハ、財界ガ隆盛ニナリマスレバ、ソレニ比例シテ自然ニ稅ノ收入ガ増加致シテ參ルコトニナツテ居リマス、其ノ點ニ於キマシテモ財政上ニ於テ多少力強ク感ゼラレル譯デアリマス、要シマスルノニ今回ノ增稅ヲ機トシテ、此ノ公債政策ニ對スル所ノ方針ヲキチント確立シテ參リタイト考ヘテ居ルノデアリマス、今期議會ニソレニ對スル所ノ具體案ヲ提出スルニ至リマセナカッタコトハ、增稅案其ノ他ノ決定以前デアリマシタノト、更ニ年々公債ヲドンドン出シテ行ク丁度發行ノ最中デアリマスノド、大凡ノ見當ヲ立テテ其ノ償還ニ對スル方法ヲ決定致シタイト云フ考ヲ以テマシテ、組閣勿々デアリマシタノド、之ニ對スル所ノ具體案ヲ提出致サナカッタノデアリマス、次ノ機會ニ於キマシテハ成ルベク早く此ノ問題ニ對シマシテ具體的ナ方策ヲ樹テテ、御協賛ヲ願ヒタイト斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○西野元著 只今此ノ重要ノ問題ニ付キマシテ大藏大臣ノ御所見ヲ伺フコトガ出來マシテ、誠ニ欣幸ニ存ジマス、非常ニ困難ナ問題デアリマス、此ノ問題ガ確定致シマスレバ、財政ノ前途ニ付キマシテハ非常ニ明瞭ヲ感ズルコトト存ジマス、折角現内閣ノ難事業デハゴザイマス、折角現内閣ノ手ニ於テ、近キ將來ニ此ノ問題ノ解決ヲ期セラレヤウニ御盡力ヲ願ヒタイト思ヒマス、私ハモウ一二伺ヒタイコトゴザイマス、大臣ヲ煩サヌデモ、事務當局カラデモ伺ヘル問題ゴザイマス、他ノ方ニ御質問ガアツタラドウカ……

○子爵梅小路定行君 私モ實ハ西野サンカラノ御質問ノヤウナコトヲ伺ヒタイト思フテ、先日大藏大臣ノ御出席ヲ願フテ置イタノデアリマス、今公債ノ利拂ニ付テノ御話ダケノコトハ能ク拜承シマシテ、サウ云フ御計畫デ今後具體的方法ヲ御講ジニナルト云フコトナラバ誠ニ結構デアリマス、私ノ伺ヒタイノハ、是モ甚ダ無理ナ注文カモ知レマセヌガ一體今後ドレ程ノ公債ガ必要ト御覽ニナツテ居リマス、是ハ事變ノ推移其ノ他色々國際狀況ノ關係等ニ非常ニ關聯スルノデアリマス、來年ハ是ダケ、再來年ハ是ダケト云フヤウナ正確ナ御答辯ハ出來マスマイシ、又ソレハ分ルベキモノデハナイノデアリマス、實ハ私ノ關係シテ居リマス銀行デ、昭和十三年ノ六月、即チ事變ノ一年後デアリマス、斯ウ云フ妙ナ表ヲ作ツテ見タノデアリマス、昭和十三年カラ以後此ノ支那事變ノ結果、ソレカラ聖戰ノ目的、所謂東亞新秩序建設ガ終ルト申シマス、略、片付クコトヲ八九年乃至十年位ニ見タノデアリマス、ソコデ十三年以後二年年五十億ノ公債ヲ發行シナケレバナルマイ、ソレダケノ金ヲ要スルデアラウ、中央

政權ガ成立致シマシテモ、ソレハマア干戈ノ戦マルダケデ、直チニ金ガ要ラヌト云フ譯デナク、色々ノ問題ノ爲ニ多額ノ金ヲ支那方面ニ要シマスルデセウシ、新秩序建設ノ問題ニ付テモ、色々ノ名義ノ上ニ於テ多額ノ費用ガ掛ルモノト見マシテ、是ハ九年ト見テ居リマス、昭和十三年カラ九年ト見テ居ルノデアリマス、年々五十億圓ノ公債ヲ發行スルモノト見タノデアリマス、是ハ豫想デアリマシテ、誠ニ杜撰ナ數字カモ知レマセヌ、或ハ大ナ見積カモ知レマセヌガ、兎ニ角年々五十億ノ公債ノ發行ヲ必要トスル、サウ致シマスルト昭和十三年カラ三年目ニハ百五十億ニナリ、六年目ニハ三百億ニナリ、九年目ニハ四百五十億圓ト云フモノニナル、是ハ必ズシモ多額ノ公債ヲ發行スルト致シマシテモ、年々平均ニ參ルモノデモナシ、六十億ノ年モアレバ、十億デ事足りル場合モアリマセウガ、平均スルモノト假定シテ、最後ニ四百五十億ト云フ大ナ公債ガ殘ル譯ニナツテ居ル、是ハ此ノ時ニ見マシタ增加率ダケデアツテ、昭和十三年六月ニハ既發行ノ公債ガドノ位アルカ分リマセヌガ、後デ私チヨット伺ヒマスガ、ソレニ加リマスト云フト非常ナモノニナル、西野サンノ御心配ニナツタノハ、此ノ大ナ公債、之ヲ半分ト致シマシテモ三百億ヤ四百億ニナルノデアリマス、返シテ行クカト云フコトヲ御心配ナサツタ只今ノ御質問デアツタノデアリマス、私ノ伺ヒタイノハ、ドレ程ノ御積リデアリマス、唯無暗ニ今年ハ是ダケ要ルカラ是ダケ出サナケレバナラス、出シサヘスレバ宜イト云フヤウナコトデアリマスマイガ、何レ其ノ時

其ノ時ニ遠キ將來ヲ慮テ御計畫ヲ立テラレルコトト存ジマス、兎ニ角只今ノ西野サンノ御質問ト併セテ、其ノ點ニ付テ御見込ヲ承リタイノデアリマス、同時ニ是ハ或ハ總理大臣ニ承ルベキコトカモ存ジマセヌガ、中央政權ノ成立ハ極ク目睫ノ間ニ追ッテ居リマス、恐クハ干戈ヲ動カスコトハ極メテ最近ニ止ルデアリマセウガ、新秩序建設ト云フコトニ付テハ餘程ノ年數ガ掛ルノデアリマス、私共ノ考ヘマシタ十年デ濟ムカ、更ニ二十年掛ルカ、或ハ國際狀況ガ極メテ順調ニ進ンデ、五年カソコラデ済ンデシマフカ、ソレハ分リマセヌガ、是ハ矢張り大藏大臣ノ所管サレル將來ノ公債發行其ノ他財政政策ニ非常ニ關係スルモノデアリマス、其ノ點ノ御見込ヲモ序ニ御洩シテ願フコトガ得マシタラバ、誠ニ結構デアリマス、先ヅソレダケ伺ヒマス

○國務大臣(櫻內幸雄君) 只今ノ梅小路子爵ノ御話ノ點ハ、矢張り是モ總テノ人ガ關心ヲ持ツテ居ルコトデアリマス、今後ドレ程ノ公債ガ必要デアルカト云フコトハ、御話ノ通りニ事變ノ推移ノ如何ニ繫テ非常ニ影響ガアルト存ジマス、支那事變ガ今日ノ如キ狀態デ繼續致スト致シマスト云フト、矢張り本年度ノ豫算ニ加フルニ國債ノ利子竝ニ年金恩給ノ増加ト云フコトハ、少クトモソレダケハ兎ニ角殖エテ行ク勘定ニナルノデアリマス、從ツテ公債ハ五十億、六十億ト云フ公債募集ヲシナケレバナラナイコトニナルノデアリマス、唯此ノ新中央政權ガ出來マシタ結果、是ガドウ云フ風ヲ影響ヲ及シテ來ルカ、蔣介石政權ガ之ニ依ツテ潰滅スルト云フ事柄ガ起ツテ參リマス、其處ニ非常ニ臨時軍事費ノ減少ヲ見テ來ルト思ヒマスガ、

マダ容易ニ蒋介石政權ガ、直チニ新中央政
權ノ傘下ニ入ルト云フコトハ豫想出來ナイ
ノデアリマスカラ、矢張り相當期間日本ノ
軍隊ヲ向フニ駐兵スルト云フ事柄モ、已ム
ヲ得ヌコトダト存ジマスシ、又新中央政權
ヲ守リ立テテ、完全ニ治安ヲ維持セシメ
ト云フコトニナリマス迄ニハ相當ノ年月ガ
掛リマスノデ、ソレニ對スル所ノ經費ノ見
通シニ付キマシテハ、今直チニ大凡ドウ
云フ見當ニナルカト云フコトハ申上ガ兼ネ
ル譯デアリマス、同時ニ東亞新秩序ノ建設
ノ問題ガ伴ツテ參リマシテ、或ハ向フノ資源
開發ニ要スル所ノ費用デアルトカ、鐵道建
設ニ要スル經費デアルトカ、兎ニ角新中央
政府ガ自分ノ力ニ依ツテ完全ニ獨立シテヤ
テ行ケル迄ハ、一面ニ於テ軍事上ノ援助ヲ
スル必要モ起リマセウシ、更ニ又新中央政
權ト經濟合作ヲ致シマス關係カラ云ヘバ、
民間ノ力ニ依ルコトモ大事デアリマスケレ
ドモ、政府トシテモ亦之ニ協力シテ行キマ
ス關係上、少カラザル費用ガ要ルト思ヒマ
ス、從ヒマシテ今ノ現狀カラ推シテ考ヘテ
見マスト云フト、茲數年ノ間ハ矢張り現在
ノ如キ大キナ國費ヲ要スルコトト思ハレル
ノデアリマス、從ヒマシテ今回ノ増稅ノ收
入ガ平年度並ニナリマシテモ、矢張り五
十億圓内外ノ公債ガ、茲數年間ハ必要
デアラウト思ハレルノデアリマス、サウシ
テ此ノ數箇年ノ後ニドウ云フヤウナ状態
ニナルト云フコトヲ考ヘテ見マスト云フ
ト、國際情勢ノ變化ニ依ツテ意外ナ事件ノ突
發セザル限りハ、新秩序建設ノ歩モ著々ト
效果ヲ擧ゲテ參リマスノデ、或ハ支那ニ於
キマシテ鐵ノ事業デアルトカ、棉デアルト
カ、鹽デアルトカ、石炭デアルトカ、種々

ナル事業ノ開發ニ依リマシテ、ソレガ相當
ノ利潤ヲ産ンデ來ルヤウナコトガ起ツテ來
マスルト云フト、ソコデ非常ナ日本國力ノ
上ニ於テ力ヲ増シテ來ルコトト思ハレルノ
デアリマス、デ此ノ新秩序建設ガ出來マシ
タ曉ニ於テハ其ノ效果ガ現ハレマスガ、其
ノ間ニ於キマシテハ相當矢張り我が國トシ
テモ、之ヲ援助シテ行クノニハ努力致サナ
ケレバナリマセヌノデ、御想像ノ通り公債
ハ當分ノ間發行シナケレバナラナイ、其ノ
公債ノ消化ガドウ云フ風デアアルカト云フコ
トハ、經濟界サヘ堅實ニ維持シテ行キ、其
ノ發展ヲ期スルコトガ出來マスレバ、私ハ
年々五六十億程度ノ公債ヲ發行スルコトハ、
是ハムヅカシイコトデハナイヤウニ考ヘテ
居ルノデアリマス、ソレデ先ツ十四年度ノ
實績ニ付テ見マシテモ、五十億圓内外ノ公
債ヲ發行致シタ上ニ、尙四十二億圓位ノ事
業資金ヲ供給致シテ居リマス、デ貯蓄力ニ
於キマシテモ、優ニ百億ヲ突破スル狀況デア
リマス、旁、致シマシテ今後ニ於キマシテモ、
經濟界ニ非常ナ混亂ヲ起ストカ、或ハ經濟界
ノ發達ヲ阻碍スルト云フヤウナコトガ起ツテ
來ナイヤウニシテ參リマスルノニハ、矢張り
貯蓄ハ百億圓ノモノガ百二十億圓以上
ノモノハ、本年ハアルノデハナカラウカト
思ヒマス、又公債ノ消化モ事業資金モ、私
ハ左程ノ困難モナクシテ此ノ年ヲ越スコト
ガ出來ルノデヤナイカト思ツテ居リマス、唯
此ノ點ハ、經濟界ニ於ケル所ノ種々ムヅカ
シイ所ノ問題ガ今日提供サレテ居ルノデア
リマシテ、一言ニシテ言ヒマスレバ、物價
ノ問題デアルトカ、或ハ生産擴充ガ中途半
端ニナツテ居ルト云フガ如キ問題、斯ウ云
フ問題ニ付キマシテ物資トノ關係ヲモ睨ミ

合ハシテ、經濟上ノ發達ヲ圖ツテ行カナケ
レバナリマセヌノデ、其ノ點ニ十分ナル注
意ヲ拂ツテ是ガ過テチナク參リマスナラバ、
年々五六十億圓ノ公債ヲ消化シテ行クコト
ハ何等差支ナイデヤナイカト、斯ウ思ツテ
居リマス、同時ニ先刻西野サンカラ御話
ノ如ク、公債消化ニ對スル所ノ確乎タル
方針ガ立チマスレバ、一層公債消化ニ付
キマシテハ、私ハ國民ガ安シテ公債ニ
應ズルコトニナルノデハナカラウカト存ジ
テ居リマス、勿論政府ガ巨額ノ資本ヲ放出
致シマスノデアリマスカラ、之ヲ民間ニ停
滯セシメズシテ、直チニ預金トシ、再ビ資
金トシテ回收スルト云フ途ニ對シマシテモ、
萬遺憾ナク之ヲ行ツテ行ク、運営シテ行ク
云フコトガ必要デアラウト思ツテ居ルノデア
リマシテ、結局今御心配ノ通り年々五十億
圓内外ノ公債ヲ、茲五年ナリ七年ナリト云
フモノハ、ドウモ續ケテ行クコトニナルノ
デハナカラウカト、斯ウ思ツテ居ルノデアリ
マシテ、ソレニ對シテ對應スル所ノ政策ヲ
定メテ、サウシテ國民ニ何等不安ヲ與ヘナ
イヤウニ致スコトガ、政府トシテ爲サナケ
レバナラヌ重大ナ責任デアルト、斯様ニ考
ヘテ居ル次第デアリマス

○西野元君 聊カ安心致シマシタ、ドウゾ是ハ希望デス
ガ、今後公債ヲ發行ナサルニシテモ、先程
西野サンノ仰セラレル通り、能ク將來ノ償
還ノ方法其ノ他等ヲ御考ヘナスツテ、大臣ト
シテハモウ二十年モ三十年モ御在職ナスツテ
イラッシャル、汚イ言葉デ申セバ、尻拭ヒヲ
俺ガスルト云フヤウナ御氣分デ財政政策ヲ
御執リニナルヤウニ御願ヒ申上ゲマシテ、
私ノ質問ヲ終リマス

○委員長(子爵西尾忠方君) 大體大藏大臣
ニ對スル御質疑ハ此ノ程度デ御差支ナケレ
バ、御忙シイヤウデゴザイマスカラ御退席
ヲ願ツテ、後ハ政府委員ノ方ニ此ノ法案其ノ
他ノ質疑ヲ願フヤウナコトニ致シタイト思
ヒマス

○西野元君 此ハ此ノ政府出資特別會計法
案ニ付テ、先般政府委員ヨリ一應ハ御説明
ガアリマシタガ、尙色々疑問モアリマスノ
デ、ソレニ付テ伺ヒタイト思フノデアリマ
ス、ドナタデモ御擔任ノ方カラ御説明ヲ戴
キタイト思ヒマスガ、第一伺ヒタイノハ、
一體此ノ政府出資特別會計法ヲ設ケルト云
フコトニ付キマシテ、政府ハ特別會計ヲ設
ケテ、ソレヲ一般會計ト別個ニ整理スル方
ガ便宜デアルト云フ一言デ御説明ニナツテ
居ルノデアリマス、ソレハ無論便宜デアッ
テ、會計法ノ上ニ特別例ヲ設ケラレタニ相違
ナイノデアリマスガ、今少シ其ノ便宜ノア
ル點ヲ具體的ニ、ドウ云フ點ガ特別會計法
ヲ設ケルコトヲ便宜トスルノカ、若シクハ
更ニ進ンデ、何故特別會計法ヲ設ケラレナ
ケレバナラヌカト云フ點ヲ、今少シク御説
明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(松隈秀雄君) 只今ノ西野委員
ノ御質問ニ對シマシテ御答ヲ申上ゲマス、

政府出資特別會計ヲ此ノ際新タニ設ケマスルコトニ致シマシテ理由ト致シマシテハ、先般本委員會ニ於キマシテ大體ノ説明ガゴザイマシタノデアリマスガ、更ニ少シク詳シク其ノ理由ヲ申上ゲマス、大體四ツ程ニ分ケテ説明スルコトガ出來ルカト存ジマス、第一ハ本會計ノ設置ニ依リマシテ、會計經理ハ一層明確且合理的ナラシメヨウトスルモノデアリマスガ、出資ニ要シマスル經費ハ資本的經費トシテ、一般ノ消費的經費トハ性質ヲ異ニシテ居ルト云フコトガ出來ルト存ズルノデゴザイマス、從ヒマシテ政府ノ出資ハ、總テ國家的事業ニ對スルモノデアツテ、政府ハ由リ以テ該事業ヲ代行セシムルモノ、乃至ハ間接ニ該事業ヲ經營セシメルモノト目スルコトガ出來ルノデアリマス、斯カル經費ヲ一括致シマシテ特別會計ヲ設置シテ、他ノ經費ト區分整理致シマスコトニ致シマスレバ、會計經理ヲ明確且合理的ナラシムルコトガ出來ルト存ズル次第デゴザイマス、第二ハ此ノ際本會計負擔ノ公債ヲ發行スルコトニ依リマシテ、從前ニ於キマシテハ、所謂赤字公債中ニ資本的支出タル出資ノ爲ニスルモノヲ包含シテ居リマスヤウナ、不合理ガ除去セラレルト云フ點デゴザイマス、第二ト致シマシテハ、

出資ハ投資トシマシテ、本質的ニ或程度ノ果實ヲ期待シ得ルモノデアリマス、從ヒマシテ出資ノ爲ニスル特別會計ヲ設ケマスレバ、固ヨリ一定條件ノ下ニ於テデハゴザイマスガ、財政的獨立ヲ期待シ得マシテ、自ラノ收入ヲ自ラノ經費ヲ賄フ、即チ自收自辨ヲ建前トスル特別會計タルノ要件ヲ具備スルコトガ出來ルコトヲ認メラル、次第デアリマス、第四ト致シマシテハ、本會計設置

ニ依リマシテ、政府ハ常時出資ニ關スル狀況ヲ總括的ニ知ルコトガ出來マスルバカリデナク、本會計ノ自收自辨ノ程度強調スルコトニ依リマシテ、將來ノ出資ニ對スル一定ノ規律乃至ハ計畫ヲ與ヘマシテ、一方限度ヲ劃スルト共ニ、他方其ノ範圍内ニ於キマシテハ、將來ニ對スル豫定ヲ確定スルコトガ出來ルト云フ、斯様ナ譯ガ本會計ヲ設マシタ理由中ノ主ナモノデアリマス

○西野元君 私ハ敢テ此處デ議論ヲスル譯デハアリマセヌガ、今ノ御話ハ經費的ノ御説明トシテハ一應サアルベキデアラウト思ヒマスガ、併シ少シ極端ニ申上ゲマスルト、其ノ四ツノ理由ハ何レモ事實ニ反シテ居ルト思フ、第一ノ……ドノ順序デスカ、書イタモノガアリマセヌノデ何ツノヲ忘レマシタガ、何カ大變其ノ經理ガ明確ニナルト云フコトヲ第一ニ御舉ゲニナツタヤウデアリマスガ、此ノ特別會計ノ豫算ヲ見マシテモ、資本的支出モ其ノモノモ一緒クタニナツテ居リマシテ、資本關係ノ計算ト損益勘定トハ分レテ居ラスヤウ思フノデ、私ノ見方ガ惡イノカ知レマセヌガ、此ノ會計ハ全ク公債ノ募集金モ配當金モ一緒ニナツテ歲入ニナツテ居ル、歲出ノ方ハ歲出ノ方デ事務費カラ出資金カラ皆繰入レテ居ルト云フ風デ、唯、金ノ出入リヲ一纏メメタ、收入モ支出モ一纏メシタト云フ以外ニ何等ナイノデアリマス、一般會計ノ雜然トシテ居ルノヲ唯引拔イテ來タト云フニ止ツテ、一體何ガ儲カテ居ルノカ、損シテ居ルノカ、此ノ計算カラハ別ニ何モ出テ來スト思フ、今ノヤウナ御趣旨ナラバ損益勘定トカ、資本勘定トカ、御分ケニナラズニ、單純ニ現金勘定ニシテ居ルノカ、ソレモ解ラナイ、

是ハ政府委員御自身モサウ言ッテ居ラレマスガ、獨立性ト云フノハ唯借金ヲシテ繰入レルト云フコトデ、獨立モ何モ當分ノ間ハ期スルコトハ出來ナイト思ヒマス、ソレカラ先刻御話ノ赤字公債ノ一部ニナルノガ不合理デアルカラト云フコトハ、或ハ斯ウ云フ議論モ立ツカ知レマセヌガ、一面カラ申シマスト此ノ赤字公債ナルモノヲ分ケテ、サウシテ出資金ノ會計タル、ドノ株ヲ持ツ爲ノ資金デアルトカ、ドレモ是モ皆公債デヤルカラ公債デ出資スルノダト云フヤウナコトニナルト、赤字公債ト云フモノガ何十億ト云フヤウニ餘リ多クナルカラト云フノデ、之ヲ政府出資特別會計ノ公債ト云フト、餘程國民ニ對スル心理的要求ガ遲鈍ニ感ゼラレテ、寧ロ或意味ニ於テ財政上ノ破瀾ヲ少クスル、恐ラク斯ウ云フ意味デ、此ノ議會ニ於テモ此ノ問題ガ餘リ深ク人ノ注意ヲ引カナカッタノデナイカト思フノデアリマスガ、サウ云フ風ナ寧ロ裏面ノ弊害トカ短所トカ申サウナトコソアレ、之ヲ特別ニ整理セラレル爲ニ、財政上ノ實益ト云フモノハ殆ドナイヤウニト思フノデアリマスレドモ、是ハモウ議論ニナリマスカラ、一應御説明ハ承ツテ置キマスガ、此ノ豫算ヲ見タ上デハ今ノ御趣旨ハ徹底シテ居ラスト思フノデス、兩方ノ「バランス」ヲ取ツタト云フコトニナツテ居ルガ、唯「バランス」ヲ現ハシタダケデ、歲入歲出ト云フモノハ之ヲ見テドウ云ツタ結論ガ出ルノデゴザイマセウカ、此ノ出資會計ハドウ云フ風ニナツテ居ルカ、儲カテ居ルノカ、損ヲシテ居ルノカト云フ、此ノ出資ニ對シテ經營ガウマク行ッテ儲カテ居ルカ、損シテ居ルカ、唯滿鐵ノ株ヲ持ッテ、滿鐵ノ株式配當ガ

是ダケアルト云フコトガ大體分ルノデアツテ、滿鐵ノ配當金、製鐵會社ノ配當金、鴨綠江採木公司ノ配當ガ幾ラアルカ、皆集メテ見ルダケデ、總額ノ政府ノ出資ガ幾ラ要ル、其ノ拂込ニ何億ノ金ガ要ル、是ハ皆借金デヤル、ソレハ公債デヤルト云フコトニナルノデ、幾ラ公債ヲ出スト云フテ、其ノ收支ヲ合セタダケデハ何等ノ結論モ出ナイヤウニ思フノデアリマス、特別會計トシテ斯クシテ「バランス」ヲ押ヘレバ、ソレデ財政狀況ガ一目瞭然ニナルト云フヤウナ、何處カニサウ云フ意味ガアリマスカ

○政府委員(松隈秀雄君) 只今重ネテノ御尋デゴザイマスガ、今迄ノ如ク政府出資ノ一般會計及ビ各特別會計ノ歲出ト致シテ出資ヲ致シマス、其ノ株式ハ雜種財產トシテ、大藏大臣若シクハ各省大臣ニ於テ保管シテ居リマスル狀況ニ較ベマスレバ、今回ノ改正ニ依リマシテ政府出資ヲ一ツノ會計ト致シマシテ、政府出資ノ會計ノ果實ハ舉ゲテ此ノ歲入ニ舉ゲル、ソレカラ政府出資ノ歲出ヲ舉ゲテ此ノ歲出ト致ス、尤モ今回ハ特別會計所屬ノモノハ、差當リ政府出資特別會計ノ範圍外ニ置キマシタレドモ、ソレダケノ範圍内ニ於キマシテモ、一般會計ニ雜然トシテ入ッテ居ルヨリモ、先程申上ゲマシタ通りノ分ケマシタ方ガ見易クナル、其ノ意味ニ於キマシテモ從來ヨリモ改善サレテ居ルト存ズル次第デアリマス、尙外國ノト申シマシテモ滿洲國デアリマスルガ、滿洲國ニ於キマシテモ、政府ノ貸付金及ビ出資金ヲ合セテ一ツノ特別會計ト致シテ居リマスノハ、矢張り同ジヤウナ觀點カラ出テ居ルノデハナイカト存ジマス、蒙古聯合自治政府ニ於キマシテモ、最近同ジヤウナ

是ダケアルト云フコトガ大體分ルノデアツテ、滿鐵ノ配當金、製鐵會社ノ配當金、鴨綠江採木公司ノ配當ガ幾ラアルカ、皆集メテ見ルダケデ、總額ノ政府ノ出資ガ幾ラ要ル、其ノ拂込ニ何億ノ金ガ要ル、是ハ皆借金デヤル、ソレハ公債デヤルト云フコトニナルノデ、幾ラ公債ヲ出スト云フテ、其ノ收支ヲ合セタダケデハ何等ノ結論モ出ナイヤウニ思フノデアリマス、特別會計トシテ斯クシテ「バランス」ヲ押ヘレバ、ソレデ財政狀況ガ一目瞭然ニナルト云フヤウナ、何處カニサウ云フ意味ガアリマスカ

制度ヲ設ケツ、アルカニ存ジテ居ル次第
ゴザイマス、尙十五年度ト致シマシテハ經
過時代ゴザイマスルノデ、一般會計カラ
受入レマシタ出資ニ對シマシテモ、一般會
計ニ繰入レマスル金額ハ一億圓程度ゴザ
イマシテ、此ノ移リ變リガハッキリ全部整理
濟ト云フ程度ニ至ッテ居マセヌカラ、旁今
以テ御話ノヤウナ御議論ガ出タコト存ズ
ルノデゴザイマスガ、將來ハ一般會計カラ
移シマシタ出資金ニ對スル一般會計ヘノ繰
入金モ濟ンデシマヒマスシ、サウ致シマス
レバ、收支ノ狀況ハ餘程ハッキリシテ參ルコ
トト存ズル次第ゴザイマス、尙本會計ノ
收支ノ狀況ハ、此ノ豫算ダケハハッキリ致
シマセヌガ、此ノ豫算ヲ實行致シテ參リマ
スレバ、決算ノニ資産ガ幾ラアルト云フコ
トモ分リマスルカラ、從ヒマシテ或ル程度
政府ハドレダケノ資本ノ投下ヲ行ヒ、ソレ
ニ對シテドレダケノ收入ヲ得テ、此ノ會計
ト云フモノガ收入支出如何ナル「バランス」
ニナッテ居ルカト云フコトハ分ッテ參ルト思
ヒマス、經過時代デアリマスル關係上、ソ
レカラ初年度ト致シマシテ茲ニ現金ノ收支
ダケノ豫算ヲ提出シテ居ル關係上、只今ノ
御議論ガ出タコト思フノデアリマスルガ、
次第ニ明確ニナッテ參ル、サウシテ斯様ニ會
計ヲ別ニ致シタコトノ方ガ、從來ノヨリモ
一步改善デアアル、斯様ニ存ジテ居リマス

○西野元君 今年此ノ會計カラ一般會計ニ
一億圓繰入レラレルノハ、ドウ云フ計算カ
ラ參ッテ居ルノデアリマスガ、別ニドノ株ノ
代金ト云フモノデナク、全體ガ何億デシタ
カ、ソレノ一部トシテ一億繰入レルト云フ
意味デアリマスガ、特ニドノ出資金ニ對ス
ル分ト云フ目當ガアルノデアリマスガ

○政府委員(松隈秀雄君) 本年度一般會計
ニ繰入レマスル金額ハ、一億圓ト云フコト
ニナッテ居リマスガ、是ハ一般會計カラ本特
別會計ニ引繼ギマスル出資八億三千五百餘
萬圓ニ對シテ、差當リ一億圓ヲ入レルト云
フコトニ致シタ次第デアリマシテ、ドノ出
資ニ對シテ幾ラ割當テタ結果ガ一億圓ト云
フコトニハナッテ居リマセヌ、是ハ法律ノ附
則ニ於キマシテ附則第十四條ニ本法施行ノ
際現ニ一般會計ニ屬スル政府ノ出資ハ之ヲ
本會計ノ所屬ニ移シ其ノ出資ノ拂込金ニ相
當スル金額ハ漸次之ヲ本會計ヨリ一般會計
ニ繰入ルベシト云フコトニナッテ、法律ノ建
前ガ一般會計カラ引繼ギマシタ出資ニ對シ
テハ、漸次一般會計ニ繰入レ、バ宜シイト
云フ建前ニ致シテアル結果、只今ノヤウナ
狀況ニナッテ居リマス

○西野元君 此ノ國債整理基金特別會計ニ
繰入レル二百四十萬ト云フノハ、ドウ云フ
計算デアリマスガ

○政府委員(松隈秀雄君) 國債整理基金特
別會計ニ繰入レマスル豫算トシテ、二百四
十萬一千餘圓ヲ計上致シテゴザイマスルノ
デ、公債發行額面一億五千三百三十六萬七
千三百一圓ニ對シマスル利子年三分五厘ノ
三箇月分ト致シマシテ、百三十四萬一千九
百六十四圓、ソレカラ證書製造費ガ一萬八
千四百四圓、一時借入金利子ガ百四萬一千
二百三十圓、其ノ合計デゴザイマス

○西野元君 從ッテ一般會計カラ此ノ會計
ニ全部引繼イダ總資産八億何千萬圓ノ中、
一億ダケ今年賣リタイト云フノデスカ、ア
ト七億何千萬ト云フモノハ借金ニナッテ、ソ
レニ對シテ一般會計カラ利息ヲ拂フト云フ
コトハナイデスカ、一億圓ト云フノハ、無

論只今ノ御説明デ元金ダケ、元本ダケノ意
味ダラウト思ヒマスガ、之ニ未拂ノ元本ニ
對スル利子ト云フモノハドウナリマスガ、
計算ハ兎ニ角唯有ルカ無イカト云フコトダ
ケデ結構デゴザイマス

○政府委員(松隈秀雄君) 御尋ノ通り一般
會計カラ引繼ギヲ受ケマシタ資産ニ對シテ、
本年度元本ニ相當スルモノノ中一億圓ヲ支
拂ヒマスダケデ、利子ハ見テゴザイマセヌ
○西野元君 ソレ等ノ點ヲ伺ヒマシテモ、
此ノ會計ト云フモノハ甚ダ半獨立性ト申シ
マスガ、唯或程度迄一般會計カラ引拔イテ、
ソレヲ數字ヲ列ベテ見タト云フダケデアッ
テ、此ノ會計ヲ見テ此ノ出資金ノ收支ノ眞
相ガ分ル譯デモナイ、寧ロ一億圓ナント云
フモノハ、政府ガ滿鐵其ノ他ノ株八億何千
萬圓ノ中ヲ賣食ヒシタト云フヤウナ譯デ
アッテ、一億圓ダケ此ノ會計ヘ入ッテ來ル、
其ノ入ッテ來ル金ハ何カト云フト、出資金ノ
代金ノ一部ヲ受入レルノデアッテ、一般會計
デ出資シテ居ッタモノヲ此ノ特別會計ニ賣
渡シテ、其ノ代金ノ中一億圓入ッテ來タ、ソ
レダケ今年ハ赤字公債ハ其ノ意味ニ於テモ
減ッテ來タ、サモナケレバ一般會計デソレダ
ケ公債ヲ募集シナケレバナラヌト云フ、一
億ト云フモノハ此ノ方ニ移ッテ來ル、サウシ
テ此ノ會計ニ於テ一億五千萬圓ノ公債ヲ發
行シテ、是ハ出資金特別會計ノ分ダト、斯
ウ云フ風ニ説明スルノデアリマスガ、今回
新タニ出資スル爲ニ一億五千萬圓ノ金ガ要
ルノデハナカラウト思ヒマス、即チ此ノ一
億圓ヲ一般會計ヘ繰入ル、ガ爲ニ、一億五
千萬ノ公債ノ發行ヲ要スルコトニナッテ居
ルノデアッテ、即チ滿鐵其ノ他既ニ政府ノ所
有シテ居ル株券ヲ賣却シテ、其ノ代金ノ一

億圓ト云フモノヲ、新規拂込ノ所要額ト合
セテ一億圓トナルノデアッテ、此ノ會計ニ於
テ新タニ出資ニ要スルモノトシテ一億五千
萬圓ヲ發行スル必要ハナイト思ヒマス、併
シ是以上ハ議論ニナリマスガ、今年一般會
計ニ於テ其ノ所屬ノ出資額ヲ本特別會計ニ
移シテ、其ノ代金ヲ本會計ヨリ受入レテ、
サウシテソレダケ一般會計發行ノ赤字公債
ノ額ヲ減ラスノガ宜イノカモ知レマセヌケ
レドモ、是ハ餘リ面白クナイコトデアッテ、
却テ財政ノ狀況ガ國民ノ眼ニ入ル時ニ間
違ッテ映ルト云フヤウナコトガアリハセヌ
カ、恐ラク前年度ト對照致シマシタナラバ、
豫算ノ表面上ソレダケ真相ト喰違フノデハ
ナイカト想像スル、私ハマア之ヲチヨット拜
見シマシテサウ想像致ス、會計法ノ特別ヲ
設ケテヤル程ノ儲打ノアルコトカドウカ、
チヨット只今ノ御説明デ分リマセヌデシタ
カラ、只今何ッタノデアリマスガ、大藏省ノ
御方針トシテ、嘗テ多數ノ特別會計ガアッ
タモノヲ、憲政會内閣ノ時代ト存ジマスガ、
非常ナ其ノ當時ノ政治上ノ議論デ、片端カ
ラ特別會計ヲ整理シテ、ヤット減ラシタ爲ニ
相當減ッタンデアリマスガ、近年又非常ニ多
クナッテ參ッタンデアリマスガ、是ハ滿洲事
變後、現下ノ支那事變等ニ付テモ一面ニ必
要ノアルモノモアリマスガ、一概ニ特別
會計ヲ設置スルコトヲ以テ、濫設ト云フコ
トモ餘リ極端デアアルケレドモ、一旦減ラシテ
モ、又時勢ノ推移ニ依ッテ必要ニ應ジテ作ル
コトハ已ムヲ得ナイト思ヒマスケレドモ、
近代ノ政府ノ御方針ハ、誠ニ特別會計ヲ濫
設シテ、チヨットデモアレバ便利ダト云フコ
トハ特別會計ニスル、私共ハ之ヲ拜見シテ、
是ガ便利ダトモ考ヘナイ、寧ロ却テ財政ノ

第四部第一類 昭和十五年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第七號 昭和十五年三月二十二日 貴族院 七

眞相ヲ誤ル虞ガアルヤウナモノデハナイカトサヘ考ヘルノデアリマスガ、大體ニ於テ特別會計ト云フモノハ從來ノ如ク嚴正ニ見ズニ、各省カラ要求デモアレバ、ドシク設置ヲ認メルト云フ御方針ニテ居リマスカ、大藏省ノ近來ノ大體ノ御方針ヲ伺フコトガ出來レバ仕合セニ存ジマス

○政府委員(松隈泰雄君) 只今ノ御指摘ハ、政府ガ特別會計ヲ起スコトガ最近ニ頻繁ナル、ソレガ爲ニ會計經理ヲ却テ混亂セシムル虞ガアルト云フコトデゴザイマスガ、一面左様ノ御觀察モ御尤デゴザイマシテ、昭和十四年末ニ於テハ特別會計ガ四十二ゴザイマスガ、本議會ニ於キマシテ又七八ツ特別會計ガ殖エマスルノデ、約五十近クニ特別會計ノ數ガナルコトト存ジマス、嘗テハ六十近クアリマシタ特別會計モ、整理致シマシテ相當減ジタデアリマスガ、最近此ノ時局關係係特ニ特別會計設置ノ必要ガ認メラレマシタノデ、又増加ノ傾向ニアリマスコトハ、會計經理ノ方カラ申シマスレバ、十分ニ注意シナケレバナラヌコトト存ジマス、尙本特別會計ヲ設ケマシタコトニ付キマシテ、西野委員カラ本特別會計ハ必要ガナイデハナイカ、ソレカラ本特別會計ヲ設ケタガ爲ニ、一般會計ニ置クヨリモ却テ惡イ結果ヲ來シハシナイカト云フ御尋ガゴザイマシタガ、本特別會計ヲ置キマシタ理由ハ、先程申上ゲマシタ通り反面カラ解釋致シマスルト云フト、只今西野委員ノ御指摘ニナツタヤウナ事實モアリマシテ、從ヒマシテ本特別會計ヲ置イタモノカドウカト云フコトニ付テハ、政府トシテハ十分考慮致シタデアリマスガ、利弊ヲ考ヘマシテ、置イタ方ガ利益ガ大キイト...

勿論弊害ヲ防止スルコトニ付テハ十分努メナケレバナラナイデアリマスルガ、其ノ弊害防止ニ留意シツ、此ノ會計ヲ起シタ方ガ、結果ガ一層宜シカラウト云フコトデ、之ヲ提案スルコトニ決タヤウナ次第デアリマス

○西野元君 尙一點伺ヒタイデアリマスガ、ソレハマア出資ト云フコトハ、大體出資ト云フ言葉ニ付テハ大凡ノ觀念ハ分リマスガ、恐ラクマア政府ノ株式ニ關シマスルカ、株式會社ノ株式ニ關スルノカドウカ能ク分リマセヌガ、國有財産法ノ施行規則等ニ出テ居ル言葉デアリマスカラ、マア大體出資ト云フ觀念ハ分ルノデアリマスガ、政府ガ出資ヲスル場合ニハ、株式ノ引受トカ何トカ云フコトニナレバ、當然政府ガ出資ノ義務ヲ負擔スルノデアリマスカラ、帝國議會ノ協贊ヲ經ルコトヲ必要トスルノハ當然デアルト思フノデアリマス、然ルニ今回ノ此ノ豫算ヲ見マスト、出資金ト云フヤウナ漠然タルモノガ項ニナツテ居ル、滿鐵ノ拂込金デアルトカ、燃料興業會社ノ拂込金デアルトカ云フモノハ目ニナツテ居ル、此ノ點ハ是ハ大藏省ト申シテモ特ニ主計局ノ扱ノ問題デアリマセウガ、甚ダ或場合ニハ實行上明確ヲ缺ク嫌ヒガアルノデアリマス、今迄出資金ナント云フ豫算科目ハ、恐ラクハ政府ノ全體ノ豫算ヲ通ジテ私ハナカラウト思フノデアリマス、アツタコトハアルカモ知レマセヌガ、極メテ稀有ノ例デアルト思ヒマス、漠然ト唯政府ノ出資金ト云フヤウナコトデヤツタ例ハナイト思フ、今回初メテ特別會計法ト云フモノガ出來テ、出資金ト云フヤウナ例ガ出來テ來マスト、出資金ト云フ名目デ議會ハ協贊ヲ與ヘル、是ハ項デアアル、協贊ノ目的ガ出資金ト云フ

コトニナリマス、其處ニ目ハ書イテアリマスガ、所謂行政上ノ目ノ設置ト云フヤウナコトガ行ハレテ來ル、大藏大臣ガ勝手ニ目ヲ設置スレバ、其處ヘ持つテ來テ新タナ議會ノ何モ知ラナイ會社ノ出資ガ出來ルト云フヤウナコトニナル虞ガアリ得ル、サウト云フコトハ無論爲サラヌダラウト思ヒマスルケレドモ、併シ法律上爲シ得ル餘地ガ存スルコトニナルノデアリマス、從來ハ政府ガ或會社ノ株式ヲ持つト云フコトノ爲ニ、國策會社カ何カデアレバ法律モ出マセウシ、然ラザレバ別ニ豫算デ協贊ヲ經ルカ何カシナケレバ、サウ云フ株式ヲ持つ措置ガ出來ナカツタデアリマスガ、今回豫算ニ出資金ト云フヤウナ漠然タル名目ノ豫算ガ出テ、我々ハ茲デ政府ニ對シテ豫算ノ協贊ヲ與ヘタ場合ニハ、出資金トハ何ゾヤト云フコトガ出テ來ル、大體ニハ豫算ガナケレバ政府ハ出資爲サラヌダラウト思ヒマスルケレドモ、目ノ設置ト云フヤウナコトデ拂込ヲ爲サルト云フコトガ若シアリトスルナラバ、ソレハ協贊ニ基イタモノカ、基カヌモノデアアルカト云フコトガ非常ニ問題ニナツテ來ルト思ヒマス、其ノ點ハ何カ大藏省ニ明白ナ御考ハゴザイマセウカ、ハッキリ伺ッテ置キタイノデアリマス、私ノ申上ゲ方ガ惡イノデ、少シ分リニクカッタカト思ヒマスガ、政府ガ或會社ノ株式ヲ出資スル、マア出資ト云フ言葉ガ私ノ解釋ヨリモ廣イカモ知レマセヌガ、或會社ノ株式ヲ政府ガ引受ケルト云フ場合ニハ、何々會社ノ株式ヲ引受ケルト云フコトガ豫算、法律若シクハ其ノ他ノ方法ニ依ツテ帝國議會ノ明カナル協贊ヲ經テ居ル場合ナケレバ、サウ云フコトハ出來ナイト云フ御解釋デアリマスガ、出資金ト

云フモノノ豫算ヲ協贊シテ置クカラ、其ノ出資金ノ範圍内デ出スナラバ、此ノ金ノ範圍ナラバ、明カニ議會デ同意ヲ得タモノデナクトモ、思ヒモ寄ラヌヤウナ株式ノ引受ヲシテモ宜イト云フ結果ガ生ジハシナイカト思フノデアリマス

○政府委員(松隈泰雄君) 只今ノ御尋デアリマスガ、政府出資特別會計法ニ所謂出資ト申シマスノハ、會社、組合其ノ他ノ特殊法人等ノ目的タル事業ノ遂行ノ爲、株主、社員等トシテ提供スル金錢其ノ他ノ財産ヲ謂フト云フ解釋デ居リマス、尙本特別會計ヲ設ケマシテモ、政府ノ出資ニ對スル從來ノ方針ハ變更致サナイ積リデゴザイマス、然ラバ政府ハドウ云フ場合ニ從來出資シテ居ルカト申シマス、其ノ事業ガ國家的ノ事業デアアル、併シ利益ガ薄クシテ金ヲ集メルコトガ困難デアアル、又ハ相當巨額ノ資金ヲ要スル爲ニ、民間資金ノミヲ以テシテハ必要ヲ充足スルコトガ出來ナイト云フヤウナ場合ニ於テ、政府ハ出資シテ居ルノデゴザイマシテ、今迄ノ先例カラ申シマスレバ、政府出資ヲ致シマス場合ニ於キマシテハ、一方ニ於テ法律ヲ以テ特殊會社ナリ、特殊組合ナリヲ設置スルコトノ提案ヲ致シマスト共ニ、必要ナ豫算ヲ計上スルト云フコトニ致シテゴザイマス、此ノ方針ガ變リナイト致シマスレバ、法律ノ提案ヲ致サズシテ、新シク會社ヲ作ツテ、豫算上出資金ト云フ項目ガアルカラ、其ノ豫算ヲ流用シテ會社若シクハ組合ニ出資スルト云フコトハ先ヅナイモノト考ヘル次第デゴザイマス、尙政府出資特別會計ノ豫算ニ於テ、目デハゴザイマスガ、一應會社別ニ出資ノ狀況ヲ明カニ致シテ居ルノデゴザイマスガ、豫算ノ御協

○政府委員(松隈泰雄君) 只今ノ御指摘ハ、政府ガ特別會計ヲ起スコトガ最近ニ頻繁ナル、ソレガ爲ニ會計經理ヲ却テ混亂セシムル虞ガアルト云フコトデゴザイマスガ、一面左様ノ御觀察モ御尤デゴザイマシテ、昭和十四年末ニ於テハ特別會計ガ四十二ゴザイマスガ、本議會ニ於キマシテ又七八ツ特別會計ガ殖エマスルノデ、約五十近クニ特別會計ノ數ガナルコトト存ジマス、嘗テハ六十近クアリマシタ特別會計モ、整理致シマシテ相當減ジタデアリマスガ、最近此ノ時局關係係特ニ特別會計設置ノ必要ガ認メラレマシタノデ、又増加ノ傾向ニアリマスコトハ、會計經理ノ方カラ申シマスレバ、十分ニ注意シナケレバナラヌコトト存ジマス、尙本特別會計ヲ設ケマシタコトニ付キマシテ、西野委員カラ本特別會計ハ必要ガナイデハナイカ、ソレカラ本特別會計ヲ設ケタガ爲ニ、一般會計ニ置クヨリモ却テ惡イ結果ヲ來シハシナイカト云フ御尋ガゴザイマシタガ、本特別會計ヲ置キマシタ理由ハ、先程申上ゲマシタ通り反面カラ解釋致シマスルト云フト、只今西野委員ノ御指摘ニナツタヤウナ事實モアリマシテ、從ヒマシテ本特別會計ヲ置イタモノカドウカト云フコトニ付テハ、政府トシテハ十分考慮致シタデアリマスガ、利弊ヲ考ヘマシテ、置イタ方ガ利益ガ大キイト...

○西野元君 尙一點伺ヒタイデアリマスガ、ソレハマア出資ト云フコトハ、大體出資ト云フ言葉ニ付テハ大凡ノ觀念ハ分リマスガ、恐ラクマア政府ノ株式ニ關シマスルカ、株式會社ノ株式ニ關スルノカドウカ能ク分リマセヌガ、國有財産法ノ施行規則等ニ出テ居ル言葉デアリマスカラ、マア大體出資ト云フ觀念ハ分ルノデアリマスガ、政府ガ出資ヲスル場合ニハ、株式ノ引受トカ何トカ云フコトニナレバ、當然政府ガ出資ノ義務ヲ負擔スルノデアリマスカラ、帝國議會ノ協贊ヲ經ルコトヲ必要トスルノハ當然デアルト思フノデアリマス、然ルニ今回ノ此ノ豫算ヲ見マスト、出資金ト云フヤウナ漠然タルモノガ項ニナツテ居ル、滿鐵ノ拂込金デアルトカ、燃料興業會社ノ拂込金デアルトカ云フモノハ目ニナツテ居ル、此ノ點ハ是ハ大藏省ト申シテモ特ニ主計局ノ扱ノ問題デアリマセウガ、甚ダ或場合ニハ實行上明確ヲ缺ク嫌ヒガアルノデアリマス、今迄出資金ナント云フ豫算科目ハ、恐ラクハ政府ノ全體ノ豫算ヲ通ジテ私ハナカラウト思フノデアリマス、アツタコトハアルカモ知レマセヌガ、極メテ稀有ノ例デアルト思ヒマス、漠然ト唯政府ノ出資金ト云フヤウナコトデヤツタ例ハナイト思フ、今回初メテ特別會計法ト云フモノガ出來テ、出資金ト云フヤウナ例ガ出來テ來マスト、出資金ト云フ名目デ議會ハ協贊ヲ與ヘル、是ハ項デアアル、協贊ノ目的ガ出資金ト云フ

コトニナリマス、其處ニ目ハ書イテアリマスガ、所謂行政上ノ目ノ設置ト云フヤウナコトガ行ハレテ來ル、大藏大臣ガ勝手ニ目ヲ設置スレバ、其處ヘ持つテ來テ新タナ議會ノ何モ知ラナイ會社ノ出資ガ出來ルト云フヤウナコトニナル虞ガアリ得ル、サウト云フコトハ無論爲サラヌダラウト思ヒマスルケレドモ、併シ法律上爲シ得ル餘地ガ存スルコトニナルノデアリマス、從來ハ政府ガ或會社ノ株式ヲ持つト云フコトノ爲ニ、國策會社カ何カデアレバ法律モ出マセウシ、然ラザレバ別ニ豫算デ協贊ヲ經ルカ何カシナケレバ、サウ云フ株式ヲ持つ措置ガ出來ナカツタデアリマスガ、今回豫算ニ出資金ト云フヤウナ漠然タル名目ノ豫算ガ出テ、我々ハ茲デ政府ニ對シテ豫算ノ協贊ヲ與ヘタ場合ニハ、出資金トハ何ゾヤト云フコトガ出テ來ル、大體ニハ豫算ガナケレバ政府ハ出資爲サラヌダラウト思ヒマスルケレドモ、目ノ設置ト云フヤウナコトデ拂込ヲ爲サルト云フコトガ若シアリトスルナラバ、ソレハ協贊ニ基イタモノカ、基カヌモノデアアルカト云フコトガ非常ニ問題ニナツテ來ルト思ヒマス、其ノ點ハ何カ大藏省ニ明白ナ御考ハゴザイマセウカ、ハッキリ伺ッテ置キタイノデアリマス、私ノ申上ゲ方ガ惡イノデ、少シ分リニクカッタカト思ヒマスガ、政府ガ或會社ノ株式ヲ出資スル、マア出資ト云フ言葉ガ私ノ解釋ヨリモ廣イカモ知レマセヌガ、或會社ノ株式ヲ政府ガ引受ケルト云フ場合ニハ、何々會社ノ株式ヲ引受ケルト云フコトガ豫算、法律若シクハ其ノ他ノ方法ニ依ツテ帝國議會ノ明カナル協贊ヲ經テ居ル場合ナケレバ、サウ云フコトハ出來ナイト云フ御解釋デアリマスガ、出資金ト

贊ヲ得マシトスレバ、出來ルダケ忠實ニ豫算ニ從テ實行シテ參ルコトト存ジマスカラ、御尋ノ如キコトハ先ヅナイモノト思ヒマスガ、萬一考ヘラレマス致シマスレバ此ノ目ノ流用ニ於テ甲會社ノ出資ヲ減ラシテ乙會社ニ廻スト云フヤウナコトハ、理論的ニ考ヘラレマスケレドモ、大體ニ於テサウ云フコトハナカラウト存ズル次第デゴザイマス

○西野元君 從來ノ政府ノ御取扱カラ申シマスレバ、先刻私ガ申シタヤウニ、國策會社等デ新テ特設セラレル會社デアレバ無論法律モ出マスガ、サウデナイモノハ、若シ既設ノ會社サウ云フモノノ株ヲ持ツト云フコトガアリマスレバ、株ヲ持ツ爲ニハ豫算ガナケレバ出來ナイノデアリマスカラ、實例ハ無論從來ハナカッタト思ヒマスガ、然ルニ今回メテ斯ウ云フヤウナ一般的ニ政府出資ノ會計法案ト云フモノガ出來テ、政府ハ出資ニ必要ナル場合ハ、本會計ノ負擔ニ於テ公債ヲ發行シテ宜シト云フコトニナルト、之ニ依ッテ公債モ如何程出ルカ分ラズ、金額ヲ限ラズニ協賛ヲ與ヘテ居ル、大體ニ於テ外ノ點ニ於テ自ラ其ノ範圍ハ決ッテ來ルカラ、唯漠然ト要ラナイ公債ヲ發行ナサルコトハアリマスマイガ、兎ニ角公債發行ノ權能ヲ無制限ニ與ヘテシマフ、出資ノ必要ガアルト云フコトデアレバ、本會計ノ負擔ニ依ッテ公債ヲ募集シテモ宜イト云フ、非常ニ廣汎ナ公債發行ノ權限ヲ政府ニ與ヘテシマフ、殘ル所ハ出資其ノモノノ限度ガドレダケ抑ヘラレテ行クカト云フ問題ニナル、ソレハ唯公債ヲ募集シテモ、出資ノ權能ガナケレバ政府ハ何トモ仕様ガナイノデアリマスガ、出資ノ豫算ハ漠然ト

協賛シテ居ル、此ノ場合ニ豫算議定ノ目標タル項ノ名稱ハ出資金ト云フコトニナッテ居ッテ、何々會社株ノ拂込金トハ限定シテナイノデアリマス、若シ此ノ目ガ項ニナッテ居レバ問題ハアリマセズ、其ノ項ノ名稱ニ依ッテヤント政府ノ出資ノ内容、實質ガ決ッテ來マス、併シ項ノ範圍、目的等ガ限定シテナイ場合ニハ、政府ノ從來ノ慣行カラ云ッテ、輕微ナ問題ニ付テハ所謂目設置ト云フ行政上ノ手段ニ依ッテ便宜ノ取扱ガ行ハレテ居ル、或事務費ト云フモノガアルト、事務費ノ中デドレダケノモノデモ、俸給、雜給、雜費、何デモ出セル、今日ノ豫算ノ上デハサウナツテ居ル、政府ハマサカ此ノ目設置ト云フヤウナ方法デ斯クノ如キコトヲ爲サリハシナイト思ヒマスガ、サウ云フコトヲシテモ會計法ニ於テハ違法デハナイト云フコトニナルナラバ、左様ナ事柄ヲ此處デ認メルト云フコトハ、非常ニ前例ノナイ廣汎ナ權限ヲ政府ニ認メルトデアアルト思フ、併シ今ノ御話ニ依ッテ、マアサウ云フコトハシナイイダラウト思フ、是ハ誰モ常識的ニシナイ筈デスケレドモ、若シ時ノ當局者ノ氣紛レデサウ云フコトヲヤツテモ、是ハ會計法上違法デモ何デモナイコトニナル、豫算ノ實行デアアル、オ前達ハ斯ウ云フコトヲヤント協賛シテ居ルデヤナイイカト言ハレテモ仕方ガナイ、詰リ特別會計法ニ依ッテ公債ヲ發行シテモ宜シト云フコトニナル、非常ナ「クレデット」ヲ與ヘテ置クコトニナル、サウシテ置イテ、ソナナ事ハシナイ筈ダト云フコトニナルノデアアルカラ、サウ云フコトヲ取締ラレル大藏省トシテハ、十分御考慮ニナラナケレバナラヌ問題デヤナイイカト思フノデアリマス、目ニアッテモ是ハ項ト同

様ニ尊重スルト仰シヤツテモ、唯尊重スルト時ノ政府委員或ハ大臣ガ仰シヤルダケデ、憲法ヤ會計法ニ於テサウ云フ效力ハナイノデスカラ、今迄先例ニナイヤウナ出資金ト云フ廣汎ナ項目ヲ此ノ豫算ノ上デ協賛ヲ與ヘル以上、政府ニ於テソレヲ十分ニ責任ヲ持ツテ、サウ云フ事ハシナイト云フコトヲ御考ニナリ得ルノデアアルカドウカ、一ツ大藏大臣ト御相談ノ上、御確答ヲ得タイト思フノデアリマス

コトハ出來ナイノデゴザイマス、ソレカラ法律ノ規定ヲ要セズシテ出資ヲスル場合モ時ニゴザイマス、併シナガラ此ノ場合ニ於キマシテモ、拂込ト云フノガ大概一年度デハ終了致シマセヌノデ、數年度ニ互リマシテ、年度後ニ互ル義務ヲ負フコトニナリマスノデ、唯豫算ダケデハ出資ヲ引受ケルコトガ出來マセヌノデ、豫算外契約ノ協賛ヲ仰グ必要ガアルノデアリマシテ、現ニ本年ノ南滿洲鐵道株式會社ノ出資金ニ付テハ、別ニ豫算外契約ヲ提出シテ御協賛ヲ仰イデ居ル、斯様ナ譯デアリマシテ、豫算ノ目ノ流用ニ依ッテ、議會ノ承認シナイヤウナ出資ヲスルト云フヤウナ現象ハ、先ヅ起リ得ナイト思フノデアリマシテ、極ク小サイ會社デアリマシテ、或年度ニ全額ノ出資ヲスルト云フ場合ニ、御心配ニナリマシタヤウナ事柄ハ起リ得ルト思フノデアリマスガ、マア此ノ點ニ付キマシテハ今松隈政府委員カラ申上ゲマシタ通り、大體マア斯ウ云フ會計ヲ作ルコトヲ考ヘマシタ動機ト云フノガ、最近ニ於キマシテ雨後ノ筈ノ如ク特殊會社ト云フモノガ出來マス、議會ニ法律案トナッテ出テ來マスモノハ或ハ三ツカ四ツデアリマスガ、大藏省ノ方ニ話ヲ持込マレル特殊會社成立ノ希望ト云フモノハ、大變ナ數ニ上リマシテ、何トカ之ヲ少ク統一的ニヤツテ行キタイ、又出來ルダケ最小限度ノモノニシタイト云フ考デ、此ノ特別會計ト云フヤウナコトモ考ヘマシタ、少シク内輪ノコトヲ申上ゲマスト、政府ノ出資ト云フモノヲ矢張り一ツノ特別ナ仕事ニ考ヘマシテ、何カ此ノ政府ノ出資全體トシテ、或程度ノ收支計算ニナルト云フコトヲ目當ニ致シマシテ、又サウ云フコトヲ法律ノ上ニ

○政府委員(松隈秀雄君) 只今ノ點デゴザイマスガ、政府出資特別會計ヲ設ケマシテモ、政府ノ從來ノ出資ノ方針ハ變更ナイ見込デゴザイマシテ、今迄別ニ別段ノ定メナイ會社ニ政府ガ出資シテ居ル例ハ、先ヅナイト存ジマスルノデ、今後ニ於テモサウ云フ事例ハ起ラナイト思ヒマスケレドモ、理論上只今御指摘ニナツタヤウナ點ガ起リ得ルカラ、其ノ點ニ付テハ政府ハ出資金ノ内譯ガ目、節ニ定ッテ居ルケレドモ、款ト同様ニ考ヘテ、豫算支出ニ當ッテ偶、廣汎ナ權限ガ與ヘラレタノヲ奇貨トシテ、豫算ノ執行上不當ナ處置ヲスルコトノナイヤウニ、此ノ際言明ラシタラ如何デアアルカト云フコトデゴザイマスノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ大藏大臣ニモ申上ゲタ上、後刻御返辭申上ゲルコトガ適當ダラウト存ジマス

○政府委員(前田克巳君) 一言私カラ附加ヘサセテ戴キマスガ、只今ノ御指摘ニナリマシテ御心配ニナリマシタ點ハ、御尤デハゴザイマスガ、唯特殊會社ニ對スル政府ノ出資ト云フモノハ、先程モ御話ガゴザイマシタヤウニ、大部分ノ場合ハ法律ノ規定ヲ要シマス、從ッテ法律ノ規定ヲ要シマス場

合ニ付テハ、是ハ豫算デ勝手ナ眞似ヲスル

第四部第一類 昭和十五年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第七號 昭和十五年三月二十一日

モ書キ現シマシテ、特殊會社ヲ濫設サレルト云フヤウナ傾向ヲ「チエック」シタイト云フ氣持モアリマシタノデアリマスルガ、色々立法技術上、又實際ノ運用上モムツカシイ點ガアリマシテ、私共ガ初メニ考ヘマシタヤウナコトガ、法律ノ上ニハッキリ書キ現スコトガ出來ナカッタノハ、大變ニ残念ニ思ッテ居ルノデアリマスガ、左様ナ氣持デアリマシテ、從來各省ノ科目ニ計上セラレテ居リマシタ出資ヲ、斯様ニ大藏省司掌ノ特別會計ノ方ニ計上致シマシテ、出來ルガケ制限ヲシテ行カウ、左様ナ氣持カラ出マシタモノデ、御心配ニナリマシタヤウナ點ニ付キマシテハ、決シテ私共モ左様ナ弊害ニ陥ラナイヤウニヤッテ行キタイト思フノデアリマス、尙確定的ナコトハ、何レ大臣カラナリ御答辯致シタイト思ヒマス

○西野元君 只今政府委員ヨリ御説明ノアツタコトハ、私モ能ク心得テ居リマス、將來ソノコトモナイコトモ分ッテ居リマシ、又多年ニ亙ッテ拂込金ヲ負擔スルヤウナ場合ニハ、豫算外契約ヲ必要トスルコトモ分ッテ居リマス、從來ハサウ云フコトガ出來ナイヤウナ組織ニナッテ居ッタノデ、今御話ノヤウナ各省ニ出資金ガ散在シテ居ルトシテモ、ソレガ出資金ト云フ漠然タル名前デ、政府ガ出資スルモノハ皆此處ヘ入ルト云フノデ、一ツノ項ニ纏ッタモノハ今迄ナカッタノデアリマス、サウ云フ時代ニハ厭ヤデモ應デモ取締ラレテ居ッタノデアリマスガ、今度ハ纏ッタ斯ウ云フモノニナッテ、出資金ト云フコトデ、政府ノ出資ノ豫算ト云フコトニナッテ、何處ノ會社トモ限定セズニ交付ニナツタ、豫算ニハ何處ノ會社ヲ引受ケタカ、何ニモ分ラズ、出資金ト云フ項デ交付ニナ

ルノデスカラ、大藏省デ之ヲ實行サレル時ニ、其ノ目々デ初メテ現レテ來ルノデアルカラ、アナタ方ガサウ云フ間違ッタコトヲ爲サナイヤウニナサルト云フコトハ能ク分ッテ居リマスケレドモ、制度ノ上ニ於テ、憲法ナリ、會計法ノ上ニ於テ、サウ云フコトヲ爲シ得ル途ヲ開クコトニナルノデアリマスカラ、ソレハドウ云フ御見解デアアルカト云フコトヲ伺ッテ居リマシテ、其ノ點ニ立脚シテ御答ヲサレマセスケレバ、政府ガソノナニ詰ラナイ會社ノ株ヲ持ツト云フコトハナイコトハ分ッテ居リマスカラ、ソレハ從來ノ方針ト變ッタコトハナイト云フ御話ハ能ク分リマスケレドモ、變ッテモ變ラヌデモ、豫算ノ組織、法律ノ構成ガ違ッタ以上ハ、新ナル其處ニ間隙ガ生ズルノデアリマスカラ、其處ヲドウナサルカト云フコトヲ伺フノデアリマスカラ、ドウゾ誤解ノナイヤウニ願ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラ新タニ此ノ會社ヲ作ルト云フコトニナッテ、法律デ作ルコトハ勿論ノ話デアリマスシ、既存ノモノト雖モ、先刻御話ノヤウニ新シイ株ヲ引受ケテ、拂込ノ義務ヲ負フノデアリマセウガ、或會社ノ既ニ發行サレテ居ル株式ヲ政府ガ買入レルト云フコトハ、出資ノ中ニ含マスノデアリマスカドウカ、是ハ私ハ斯ウ云フモノヲ含ムデアラウト考ヘテ居リマス、政府ガサウ云フモノヲ買ハレルト云フコトヲ決メテ居ルト私ハ申スノデヤナイノデス、唯法律觀念トシテ、出資會社トシテ、何々會社トシテ現ニ存シテ居ル會社ノ株ヲ、拂込濟ノ株ヲ買フト云フコトモ、一ツノ出資デハアリマスマイカドウカ、先程申上ゲタヤウニ出資ト云フモノノ定義ガ書イテアリマセスカラ、分リマセ

スガ、若シ此ノ法律ニ持ッテ行ッテ、政府ノ出資ハ總テ帝國議會ノ協賛ヲ要スト云フコトガ書イテアレバ、何デモナイ、ソレガアリマセスカラ、私ノ申サウナ疑問ガ起ッテ參ルノデアリマス、ソレハドウ云フ風ニ御解釋ニナッテ居リマスカ、其ノ時ニ若シ御答ガ、政府ハドウモ世間ニ有觸レタヤウナ株ハ致シマセヌト云フヤウナ御答ナラバ、私伺フ必要ハナイノデス、唯サウ云フコトモ出資ト云フ中ニハ含ムノデアリマセヌカト云フコトヲ伺フノデアリマス

○政府委員(松隈秀雄君) 政府ガ法律、勅令等ニ基イテ設立サレマシタ特殊會社ノ株式ヲ買入レルト云フヤウナ場合モ、出資ト云フ中ニハ入ルト存ジマス

- 國務大臣 櫻内 幸雄君
- 大藏大臣 相田 岩夫君
- 大藏省理財局長 入間野武雄君
- 大藏省銀行局長 永井 勻君
- 大藏書記官 前田 克巳君
- 同 松隈 秀雄君
- 營繕管財局理事 森田 親三君
- 陸軍主計大佐 佐藤 基君
- 保險院總務局長 佐藤 基君

○委員長(子爵西尾忠方君) 速記ヲ始めテ……、時間モ參リマシタシ、午後ハ速記ノ都合ガ悪イサウデアリマスカラ、本日ハ此ノ程度デ散會致シタイト存ジマス、明日ハ矢張り速記ノ關係デ、午後ニ御開キヲ願ヒタイト云フ事務局ノ申込デゴザイマスカラ、大體午後一時半アタリカラ開クト云フコト致シマスガ、孰レ彙報ヲ以テ御報告ヲ申上ゲマス、本日ハ是デ散會致シマス

- 政府委員 大藏省理財局長 相田 岩夫君
- 大藏省銀行局長 入間野武雄君
- 大藏書記官 永井 勻君
- 同 前田 克巳君
- 營繕管財局理事 松隈 秀雄君
- 陸軍主計大佐 森田 親三君
- 保險院總務局長 佐藤 基君